

輝け！高生中

文責 校長 和田義則

1、令和2年度 文化発表会 11月2日 心に届く歌声

高生中学校の文化発表会は、ステージでは生徒会による開会行事と学年合唱と全校合唱、教科等による展示の取組があります。

合唱は人の心に届き、感動する合唱を目指して、音楽の先生を中心に、各学年パートリーダーが頑張り練習に取り組んできました。本番当日、どの学年も今までの練習の成果が発揮できて最高の合唱で、感動して涙を流されていた保護者の方もいました。特に最上級生である3年生の合唱は、一番人数が少ないですが、1・2年生より声量も豊かで表現力が素晴らしいものです。そして下級生にとって3年生の合唱を聴いて、「自分たちも先輩のような合唱ができるようになろう。」と思い、一層頑張ろうと努力します。

3年生の合唱は、1・2年生にとって「あこがれ」であり「目標」となり、学校全体の合唱の質が上がっていきます。最上級生が、後輩を育てるという素晴らしい「学校の伝統」となると思います。3年生の皆さん、本当によくがんばりました。

展示では、美術等の教科や農泊等学年行事の発表等が展示されましたが、「一生懸命さ」や「工夫」が伝わる作品がよかったです。また、生徒会の皆さん、文化発表会の成功に向けて毎日遅くまで準備等、お疲れ様でした。

最後に、当日ご来校下さった保護者及び地域の皆様に心より感謝申し上げます。



○生徒感想

どの歌もちゃんと心を込めて歌うことができました。練習で途中きつくなったりしたこともあったけど、その練習をしっかりとやったから今日のようないい歌が歌えたと思います。「COSMOS」を歌い終わった時は、もっと歌いたいなと思いました。この文化発表会で僕は歌を歌うことが好きになりました。

私は、この文化発表会の実行委員として始めに不安でどうなるかと思っていたけど、私たちの言ったことに応えてくれるみんなのおかげで、この文化発表会の合唱を1年生らしく歌えたんだと思います。心をついて歌うことができてよかったと思います。

また2年生や3年生の合唱を聴いて、私たちも来年再来年こんな風に歌えたらいいなと思いました。



私は今まで歌を歌うこととか真剣でなかったけど、今日の文化発表会で保護者の方に歌を披露して拍手をもらったことで歌を歌うことが好きになりました。拍手をもらって今まで練習してきたかいがあったなと思います。

長いようで短い文化発表会でしたが、私は最後までやりとげました。最初はこんな難しい歌が歌えるか不安でしたが、ソプラノパートが声をだしリードしてくれたり、男子パートがたくさん練習して本番に向けて気を引きしめていることが伝わってきました。アルトパートの人は、私たちが声が小さい時は、優しく「もう少し声を出すときれいになる。がんばろう。」と言う声掛けをしてくれて、最初の不安など消えて、「上手になりたい。」「お手本として立派にステージに立ちたい。」と思うようになりました。

最後の歌を歌った時1年生の時のことを思い出して、ここまで成長できたのもやはり一生懸命に付き添っていただいた先生方のおかげだと改めて感じました。歌い終わった時に達成感がありました。



2、戸畑区中学校連合音楽会 11月8日 ウエル戸畑大ホール

戸畑区中学校連合音楽会は、他の区と異なり、全校最上級生である3年生が参加します。そのため、大変質の高い素晴らしい合唱の発表会になります。本校の3年生は、4中学校中最も人数が少ないのですが、他の中学校に負けない声量と表現力で立派な合唱を披露しました。



3、牧山東市民センター 11月9日 高齢者ふれあい交歓会 家庭部参加

本校家庭部は、毎年牧山東市民センターの高齢者ふれあい交歓会に参加し、地域の高齢者の方と会食やプレゼント渡し等を行い地域貢献をしています。今年も参加して、多くの高齢者の方から喜ばれて、生徒に奉仕することや高齢者をいたわる心が育つことになったと思います。

○家庭部部長の感想

私は、少し高齢者の方と話すのが苦手でしたが、話をしていくと慣れて笑顔も増えて「交流っていいな。」と思いました。1年生の時には前日に遅くまで残ってコースターをつくりました。それを渡した時に隣のおばあちゃんが「昨年もらったのを飾っているよ。」と言われて大切にしてくれているんだと思いとてもうれしくなりました。

今年はお手玉をつくりましたが、数が足りなかったの、「ジャンケン」の形にしました。始めは楽しんでくれるか心配でしたが、いつの間にか会場全体が笑顔で包まれ、お手玉を渡すときに一人一人が「ありがとう。」と笑顔になっていました。

家庭部は、運動部のように大会に出ることはありませんが、学校の外に出て小学生や高齢者を笑顔にする力はどの部よりもあります。家庭部の部長として新たな良い経験ができました。

